

2013. 12【vol.42】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|--|----|
| 1. 関西支社管内の気象と水源状況 | 1p |
| 2. 総合技術センターの紹介 | 2p |
| 3. 機構初 ダム定期検査の視察会を開催 | 3p |
| 4. 施設見学会のご報告 ～ 琵琶湖開発事業 ～ | |
| 5. 大阪広域水道企業団主催の駅伝大会に参加！ | 4p |
| 6. 水道業務体験研修に参加して | 5p |
| 7. 水に関する一口メモ ④
～ 坂村真民、正岡子規を訪ねて松山に ～ | 6p |
| 8. 水源地マラソン紀行（その18） ～ 大阪・淀川市民マラソン編 ～ | 7p |
| 9. 異動のご挨拶 （前 関西支社中津川管理室長 名和 勝則） | 8p |
| 10. イベント情報 | 9p |
| 編集後記 | |



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

1. 関西支社管内の気象と水源状況

11月の気象状況は、気象庁の発表によると、上旬は、日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過し変わりやすい天気となりました。

中旬以降は、冬型の気圧配置の日が多かったため、太平洋側では晴れる日が多くなりました。

11月の降水量については、月を通して日本海側では平年を上回り、太平洋側では平年を下回りました。

関西支社管内の水源における月間の降水量は、日吉ダムと琵琶湖を除く各施設とも平年並か、若干上回る結果となっています。

現在のところ、各ダムとも計画的に貯水を続けております。

～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年12月26日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	125.65	2,820	57.3	70	73
青蓮寺ダム	276.47	1,862	97.5	74	72
室生ダム	295.01	1,282	96.4	104	81
布目ダム	283.48	1,226	96.6	75	74
比奈知ダム	291.52	912	59.6	78	69
一庫ダム	142.65	1,984	74.0	66	66
日吉ダム	190.96	3,519	97.8	51	72
琵琶湖	B.S.L. -15cm	—	—	92	103
7ダム 合計	—	13,605	77.3%	—	—

※1 琵琶湖水位は、12月26日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しております。

※3 降水量については、11月1日～11月30日までの累計値で、琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

水資源機構関西支社 HP ↓↓↓

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

2. 総合技術センターの紹介

このコーナーでは、水資源機構の「総合技術センター」についてご紹介します。

前回までは、総合技術センターが実施してきた国土交通省や府県の具体的な技術支援業務を紹介してきましたが、今回は「ダム定期検査」についてご紹介します。

「ダム定期検査」とは、国の規程や通達に基づいて、概ね3年に1回以上ダムの管理状況を定期的に検査することをいいます。

水資源機構では、平成14年度から「ダム定期検査」を実施していますが、当該検査はダムの専門的な知識を要することから、総合技術センターの職員が検査員を務めています。

「ダム定期検査」の主な内容と判定基準は以下のとおりです。

1. 管理体制及び管理状況

各種記録の整理状況等を確認し、ダムの管理体制や管理状況を検査

2. 資料・記録の整備保管状況

管理の基礎資料や点検整備、計測結果等の各種記録の整理状況を検査

3. 施設・設備の状況

放流設備や警報設備等のダムの設備を目視・動作確認により検査

ダムの施設の劣化・損傷に対する目視観察や打音などによる検査

「ダム定期検査」の結果については、総合判定として次のA、B、Cに分類されます。

A：ダム及び当該河川の安全管理上に重要な問題が有り、早急な対応を必要とする。

B：一部に問題はあるが、全体的には問題が無いといえる。

C：全体的に問題はない。

戦後から高度成長期を経て、国や都道府県・市町村においては、現在までに多くのダムが建設され管理されています。

水資源機構では、管理開始後30年以上を経過したダムの割合が多くなっており、しかし、ダムは全面的な更新に馴染まない構造物であるため、長期にわたり安全性と機能を保持する観点から、「ダム定期検査」は重要な検査であると言えます。

今後の公共事業は、少子高齢化による税収減や国・地方の財政難などにより新規事業を多くは期待できないと考えられます。また、戦後に急速に整備されたインフラ施設の老朽化に伴う維持更新が増加し、それが主体になることも予想されます。

昨年12月に起きた、中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故の教訓から、施設の管理者による日々の管理と、専門的な知識を持つ者による定期的な検査が極めて重要と考えます。

総合技術センターでは、「ダム管理」や「ダム定期検査」に関する専門的な知識を持つ職員が多くおります。

技術的課題などについてのご相談などがありましたら、いつでもお気軽にご連絡をいただけたらと思います。

総合技術センターHP : <http://www.water.go.jp/kanto/sougicenter/guide/index.html>

(総合技術センター)

3. 機構初 ダム定期検査の視察会を開催

平成 25 年 12 月 5 日（木）に、水資源機構の一庫ダムにおいて実施した「ダム定期検査（現地検査）」を、利水者並びに関係機関の 23 名の皆様に、初めて視察いただきました。

「ダム定期検査」とは、原則として 3 年に 1 回以上の頻度で、ダムの管理状況を検査するもので、その結果については河川管理者に報告しています。

本視察会では、定期検査（現地検査）項目の一部となる、常用洪水吐きゲート設備の動作確認や警報設備の確認試験やダムの基礎排水孔からの漏水量測定を視察いただきました。

参加された皆様方からは、「今回の視察することが出来なかった各検査を一通り視察したい。書類検査状況も見てみたい。」、「ダムの点検管理業務の一端が見られたので有意義でした。」などのご意見やご感想をいただき、ダム定期検査の必要性と機構が目指すダム管理につきまして、ご理解を深めていただけたと感じております。



【常用洪水吐2号ゲートの動作確認の視察】



【機構ダムの管理体制についての質問の様子】

4. 施設見学会のご報告 ～ 琵琶湖開発事業 ～

平成 25 年 11 月 14 日（木）と 15 日（金）の 2 日間にわたり、利水者並びに関係機関の皆様を対象とした「琵琶湖開発事業」の施設見学会を実施しました。

施設見学会では、琵琶湖の湖岸堤（野洲川地区～守山地区～草津地区）や津田江排水機場、瀬田川洗堰などを 31 名の皆様に見学いただきました。

急な冷え込みもあって、琵琶湖の西側に位置する比良山系では 11 月 14 日に初冠雪となりましたが、両日とも施設見学会の時間帯は天候に恵まれました。

参加された方々からは、「琵琶湖の水量の調節が関西の水資源にとって大変重要なことが分かった。」、「日頃情報としてしか見ることのできない施設管理や各調整について知識を深められた。」、「治水対策（内水排除）について理解を深めることができた。」などのご感想をいただき、琵琶湖開発の施設管理についてご理解をいただけたと感じております。

また、施設見学会後の意見交換会では、平成 25 年 9 月に来襲した台風 18 号の対応で実施した、内水排除操作や琵琶湖内の浚渫工事について、様々なご質問やご意見を伺うことができました。

今後も、引き続き施設見学会を通じて、機構のダムや水源地域の現状等をご紹介します、利水者並びに関係機関の皆様方に、機構事業へのご理解を深めていただけるよう、取り組んでいきたいと思っております。



【瀬田川洗堰バイパス水路の見学】

（関西支社 利水者サービス課）

5. 大阪広域水道企業団主催の駅伝大会に参加！

大阪広域水道企業団は、構成団体の水道関係者との相互の親睦と健康増進を図るため、12月7日(土)に、堺市にある大泉緑地において『～職員手作りの駅伝大会～第4回水道企業団・市町村親睦駅伝大会』を開催されました。

本大会は、平成22年から始まり、今年で4回目となります。

今年も、同企業団や構成団体の水道関係者以外の方々も参加され、競技の部では43チーム、親睦の部では21チームの参加があり、昨年よりも大幅に増えて、約400名の選手が集いました。また、選手だけではなく、選手のご家族や職場の皆様も応援に訪れ、大盛況な大会となりました。

本大会の運営は、事前の準備から協議や設営にわたり、同企業団の有志の皆様が業務外で行いました。水資源機構も、大会の運営には微力ながら協力させていただきました。

大会についても、水資源機構からは競技の部に2チーム(チーム名「水機構ヘタレ選抜」、「水機構ヘタレ混成」)が参加すると共に、同企業団と水資源機構の関わりや水源施設についての広報活動もさせていただきました。

大会の当日は、朝から天気に恵まれ、大会設営も順調に行うことができました。午後からは少々肌寒くなりましたが、絶好の駅伝日和となりました。

開会式と準備体操も終わり、第1区のランナーがスタートラインに並びます。

同企業団の竹山企業長の号砲を合図に一斉にスタートが切られ、競技の部(3km×5周)と親睦の部(全走者で計9km)の順に競技が開始されました。区間ごとの走者が変わると次々に順位が入れ替わる大接戦となり、応援にも力が入る一時でした。

本大会も年を追う事にレベルの高い大会となっており、参加する選手の皆様が、本大会に向けて練習されてきていることが伺えました。

大会の結果は、競技の部では、高槻市水道部の「すいぞう君1」チームが57分36秒という、1時間を切る好タイムで優勝しました。ちなみに、水資源機構の2チームは、1時間3分4秒(7位)「水機構ヘタレ選抜」と1時間19分25秒(42位)「水機構ヘタレ混成」という結果に終わりました。

親睦の部では、ゆるキャラの堺市の「すいちゃん」や兵庫県相生市の「(ど根性大根)大ちゃん」がランナーとして走るなど、大いに盛り上げていただきました。

本大会の運営をされた大阪広域水道企業団の皆様、大変にお疲れ様でした。

来年も天候に恵まれ、多くの皆様が参加され、より一層親睦が深まる大会であることをお祈りします。



水資源機構をPR



第1区のランナースタート!!

(関西支社 利水者サービス課)

6. 水道業務体験研修に参加して

水道業務体験研修は、機構職員の人材育成の一環として、水道事業の実情について身をもって知ることにより、利水者である水道事業者の視点を理解し、将来の業務遂行の礎とすることを目的として、平成18年から実施しています。

今年は、11月18日から22日までの5日間にわたり、大阪広域水道企業団村野浄水場の皆様のご協力により、浄水場の業務を体験し、また、各施設の役割や効果について、浄水場の皆様からご講義をいただきました。

ここでは、今回の研修を通して、研修生が学んだことや感じたことについて、ご紹介させていただきます。

◆ 木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所 くにえだ のがあき 國枝 信明

今回の研修では、施設見学と水質体験等をさせていただきました。

施設見学で印象的だったのは階層系の浄水施設でした。これは通常屋外の平面で浄水する施設を建屋にまとめたもので、地上の水をポンプでくみ上げて地上にたどりつくまでに浄水されるシステムです。

水質試験では、淀川の原水にポリ塩化アルミニウム(PAC)という薬剤を入れ、ゆっくりとかき混ぜるとフロックと言われる「濁り」の塊ができ沈殿する様子を観察しました。

最後になりますが、今後の自分の業務にも活かせることをたくさん学ばせていただきました。また、自分の見識が広がったのではないかと思います。



◆ 琵琶湖開発総合管理所 環境課 たきもと まさゆき 滝本 雅之

今回の研修では、オゾンや活性炭や生物処理を用いた高度浄水処理の過程や職員による浄水運用・送水状況の24時間・365日監視など、水道水の利用者からのニーズに答えるため、日夜努力されていることを学ぶことができました。

また、水位差発電や汚泥の有効利用など、コスト縮減においても工夫されていることを知り、大変刺激となりました。

今後も、同じ理念を持つ仲間として、より協力できるよう今回の研修で学んだことを活用していきたいと思えます。



◆ 関西支社 利水者サービス課 おぼな きょうこ 尾花 香子

取水施設から浄水施設、送水施設と、水の流れに沿って見学でき、研修中に何度も繰り返し施設内を回ることができたので、短期間の中でも理解が深まったと感じています。

パンフレットだけでは分からない多くのことを知ることができ、貴重な体験でした。

研修中に講師の方が言われた言葉で「水道施設は食品工場と同じ」という言葉がとても記憶に残りました。その言葉に、安全でおいしい水を作るための浄水場の方々の思い、危機管理意識の高さが集約されている気がしました。

この研修で経験したこと、感じたことを今後の業務に反映できるよう日々意識して取り組んでいきたいと思えます。

(関西支社 利水者サービス課)

7. 水に関する一口メモ ④

坂村真民、正岡子規を訪ねて松山に

2013年12月7～8日に、松山の正岡子規記念博物館と隣町の砥部町にある「念ずれば花開く」で知られる坂村真民の記念館を訪ねました。二人の生涯、生き方について新たな発見の感動の二日間でした。

【坂村真民について】

坂村真民記念館HPより

1909年（明治42年）、熊本県玉名郡府本村（現・荒尾市）生まれ。本名、（たかし）。8歳の時、父親が急逝し、どん底の生活の中、母を支える。神宮皇學館（現・皇學館大学）卒業後、熊本で教員となる。その後、朝鮮に渡って師範学校の教師に。終戦後、朝鮮から引き揚げて愛媛県に移住。高校の教員として国語を教え、65歳で退職。58歳の時、砥部町に定住し、92歳で砥部町名誉町民に選ばれる。2006年（平成18年）97歳で砥部町にて永眠。20歳から短歌に精進するが、41歳で詩に転じ、個人詩誌『詩国』を発行し続けた。仏教伝道文化賞、愛媛県功労賞、熊本県近代文化功労者賞受賞。

一遍上人を敬愛し、午前零時に起床して夜明けに重信川のほとりで地球に祈りを捧げる生活。そこから生まれた人生の真理、宇宙の真理を紡ぐ言葉は、弱者に寄り添い、癒しと勇気を与えるもので、老若男女幅広いファン層を持つ。

【私の好きな詩・あとから来る者のために】

あとから来る者のために田畑を耕し
種を用意しておくのだ
山を川を海を きれいにしておくのだ
ああ あとから来る者のために 苦勞をし我慢をし
みなそれぞれの力を傾けるのだ
あとからあとから 続いてくる
あの可愛い者たちのために
みな それぞれ自分に出来る なにかをしてゆくのだ



坂村真民記念館前にて

【重信川と石出川ダム】

重信川は、愛媛県中部を流れ伊予灘に流れる流域面積445km²の一級河川であり、戦国時代以前は伊予川と呼ばれていた。河川名は文禄・慶長年間（1592年～1615年）、松山藩主加藤嘉明（賤ヶ岳の七本槍の一人）の家臣で河川改修にあたった足立重信に因むとされる。河川名称に個人の名が付けられるのは、日本では大変珍しいとのこと。

重信川の支川石出川には、堤高87m、総貯水容量12,800,000m³の石出川ダム（重力式コンクリートダム・国土交通省所管）が1972に竣工しており、道後・松山の貴重な水瓶となっている。

【正岡子規と水】

若鮎の 二手になりて 上りけり

重信川と石出川の合流点の出会い橋付近で詠んだと言われている。私が、長良川河口堰のモニタリング業務にかかわっている時に初めて出会った句で、鮎が左右岸を上る姿を想像し、当時は、河川の両側を遡上していく鮎の力強さを詠んだものと思い込み「魚道設計の極意を表している」と自分なりに大変気に入った句です。

最後に、師走の俳句を。

漱石が 来て虚子が来て 大三十日

梅活けて 君待つ庵の 大三十日



子規記念博物館前にて

2013年の最終号の水レターとなりました。関係機関の皆様ここに本年のご厚情に感謝申し上げます。

来る午年、良いお年をお迎え下さい。

（上席審議役 原 稔明）

8. 水源地マラソン紀行（その18）

～ 大阪・淀川市民マラソン編 ～

今年も、はや師走となりました。今年の冬の寒さは厳しいとの予報ですが、12月前半は穏やかな天候が続いています。

今回は11月3日に行われた大阪・淀川市民マラソン（フルマラソン）の様をお伝えします。

「大阪・淀川市民マラソン」は、守口市の淀川左岸の淀川河川公園（外島・太子橋地区）を起点として、淀川の河川敷を約10km北上し、枚方市の三矢地区を折り返し、そこから南下後、大阪市淀川区の塚本を折り返し、スタート地点がゴール地点というまさに河川敷の大会です。

コースが比較的フラットなこと、大阪マラソンの翌週に開催され、大阪マラソンの抽選に外れた人などが参加できること、Qちゃん（高橋尚子選手）とコース上でハイタッチができること（時間内の完走者に限る。）などがあり、人気の高い大会です。私にとっての魅力は何と言っても淀川のシンボルである淀川大堰の上を走れる唯一の大会であることです。

フルマラソンに向けては、暑かった夏に走り込みが不足しており、記録面では、完走できれば良いと臨んだ大会でもあります。

11月3日9時の気温は17℃。当日の天候予測では曇りのち雨。雨もどれくらい降るやら全く見当が付きません。寒いのが暑いのが、時間もかかりそうなのは確実ですので、雨よけにゴミ袋をかぶってスタートします。

スタート直後は、河川敷を集団で走るせいか思うように前に進みませんが、10kmを過ぎると流石に集団もばらけてきます。何とか中間点にさしかかり、ここでは何とか大きな失速もなく通過し、30kmを3時間ちょいで通過したところから、ヘタレ病が発病し、走っては歩くの繰り返しです。最初に渡った淀川大堰は走っていましたが、折り返しゴールに向かう淀川大堰ではほぼ歩いています。

前の週の大阪マラソンでは、知りあいの激励で30km地点（玉出）に応援に出かけました。一庫ダムのM氏は大阪マラソンで3時間を切るという別次元の走りに元気をもらいましたが、もらった元気も走る途中のどこかに忘れて来ています。フルマラソンは、30kmからとはよく言われますが、まさに30kmからが地獄の始まりです。そんなこんなで苦しみもがいても、歩いている限りいつかはゴールに辿り着きます。何とかゴール3km前ぐらいから走る割合が増えていき、最後は走ってゴールです。ゴールには、何とQちゃんがハイタッチで出迎えてくれています。笑顔のQちゃんに迎えられるれば、今までの苦しみも一時的に忘れられますが、これはQちゃんの魔力です。30km以降は2時間弱かかり、ゴールタイムは5時間を切るのがやっとです。

3回出場したフルマラソンでは一番遅いタイムでしたが、完走できたことは何よりです。

次回は、「やまぞえ布目ダムマラソン大会」の様をお伝えする予定です。



【スタート直後、Qちゃん激励】



【淀川大堰を渡るランナー】

（ダムを走る男）

9. 異動のご挨拶

今年の冬は寒さが厳しくなるとの気象庁の長期予報ですが、今のところ、穏やかな日々が続いています。

今年も早くも師走となり、関係者の皆様方におかれましては多忙な日々をお過ごしのことと存じます。

さて、私事ではありますが、12月16日をもちまして愛知用水総合管理所へ異動することとなりました。

中津川管理室長に在任中は、関係者の皆様方の温かいご協力により、淀川左岸線（2期事業及び左岸線事業）にかかる正蓮寺川利水事業の工業用水導水施設の廃止や補償等について一定の手続きを進めるが出来ました。

また、中津川管理室に着任してからこれまでに大過もなく職務を全うできたのも、ひとえに関係者の皆様方のご理解のおかげであると深く感謝しています。

今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

これから、寒さが厳しくなりますので、皆様方におかれましては何卒ご自愛下さいませ。



平成25年12月吉日

なわ かつのり
(前 関西支社 中津川管理室長 名和 勝則)

10. イベント情報

12月以降に予定されているイベントなどをご紹介します。



開催時期	行事名・主催	開催場所	概要
2月8日(土) 2月9日(日) (一庫ダム)	フィッシングショー OSAKA 2014 大阪釣具共同組合 事務局 HP : http://www.fishing.or.jp/index.html	インテックス大阪 6号館A・Bゾーン および4号館(イベント会場)	『水辺で出会う夢・感動』 をテーマに開催されます。 一庫ダムのブースには是非 お越し下さい。

○ 月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会

開催場所 : 京都府相楽郡南山城村(高山ダム)

開催日 : 2月16日(日)

申し込み期限 : 平成26年1月17日(金)

大会HP : <http://www.e-marathon.jp/tsukigase/>



○ 名張青蓮寺湖駅伝競走大会

開催場所 : 三重県名張市(青蓮寺ダム)

開催日 : 2月23日(日)

申し込み期限 : 1月6日～ 先着80チーム

大会案内チラシ :



http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/syourenji/event/pdf/20140223_syoudenji_ekiden.pdf

○ 日吉ダムマラソン大会

開催場所 : 京都府南丹市(日吉ダム)

開催日 : 4月中旬(予定)

(関西支社 利水者サービス課)

編集後記

師走を迎え今年も残すところ、あとわずかとなりました。あわただしく1年が過ぎ去ろうとしています。皆様にとって、この1年はどのような年でしたでしょうか。

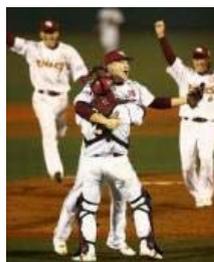
今夏は、猛暑で10月に入っても暑い日が続きましたが、いつの間にか吐く息も白く、本格的な冬が到来し寒さが厳しくなってきました。

今年は、国内外を問わず台風などによる大きな被害が各地で発生しました。特に9月に発生した大型の台風18号では、気象庁はこれまでに経験したことがない記録的な大雨により、京都・滋賀・福井3県を対象に“大雨特別警報”を発表し、観光地の『嵐山地区』では増水した桂川が氾濫し、床上・床下浸水などの被害をもたらしました。現在、『元気です!京都・嵐山』を合い言葉に行灯(あんどん)などで照らし出す『京都・嵐山花灯路(はなとうろ)』で渡月橋などがライトアップされ彩っています。



一方、トピックスとして、2020年のオリンピック開催地が東京に決定。開催誘致のプレゼンテーションで滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」が、今年の流行語大賞4語のひとつに選ばれました。

また、球団創設9年目で初の日本一に輝いた“楽天イーグルス”。楽天の優勝は東北地方のみならず、日本中の人々に“感動と勇気”を与えてくれました。特にマー君(田中将大投手)の活躍ぶりは並大抵のものではなく、優勝に大きく貢献してくれました。大リーグ挑戦が注目されるマー君ですが、球団にとっても大事な人材(投手)であることは間違いなく、球団も慰留に努めると思われますが、彼の去就が気になるところです。



【優勝の瞬間・マー君】



【楽天イーグルス:星野監督】

さて、2014年(平成26年)の干支は午年。4月から消費税が8%に上がり、私たちの“暮らし”がどうなるのか先行き不透明ではありますが、干支の午のごとく駆け抜けるしか仕方がないのかもしれない。

最後になりましたが、本年も関係府県、利水者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年も飛躍の年となりますよう祈念いたします。

2014年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。(了)



水資源機構ツイッター
http://twitter.com/jwa_PR
水資源機構関西支社
<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp